



日本モレックス株式会社
MOLEX JAPAN CO.,LTD.

手動式圧着工具 取扱説明書

取扱説明書番号

IS-0085J

発行日 1994/12/20

改訂日 2004/03/12

REV. A

1.仕様

1-1. 裸圧着端子・スリーブ用

工具番号	適用端子・スリーブ呼び	全長	重量	備考
57257-5000	1.25, 2, 3.5, 5.5, 8 mm ²	275 mm	430g	JIS C9711
57343-5001	0.3, 0.5 mm ²	430 mm	275g	
57343-5002	1.25, 2 mm ²	185 mm	210g	JIS C9711
57343-5004	2, 3.5, 5.5, 8, 14 mm ²	297 mm	550g	JIS C9711
57343-5005	①, 小, 中, 大, リングスリーブ用	290 mm	490g	JIS C9711

1-2. 連鎖型圧着端子用

工具番号	適用端子・スリーブ呼び	全長	重量	備考
57343-5006	0.75, 1.25, 2 mm ²	270 mm	470g	

1-3. 絶縁被覆付圧着端子・スリーブ用

工具番号	適用端子・スリーブ呼び	全長	重量	備考
57343-5007	0.3, 0.5 mm ²	265 mm	500g	
57343-5008	1.25, 2 mm ²	195 mm	350g	ダイス交換で、裸・絶縁両用
57259-5000	1.25, 2 mm ²	270 mm	490g	
57258-5000	3.5, 5.5 mm ²	325 mm	910g	

1-4. 裸、絶縁被覆付圧着端子、及びスリーブ用

工具番号	適用端子・スリーブ呼び	全長	重量	備考
57343-5009	1.25, 2, 5.5 mm ²	250 mm	520g	ダイス交換式

1-5. 絶縁被覆付閉端接続用

工具番号	適用端子・スリーブ呼び	全長	重量	備考
57343-5010	CE-1, CE-2, CE-5	275 mm	440g	JIS C2807
57343-5011	CE-2, CE-5, CE-8	325 mm	630g	JIS C2807

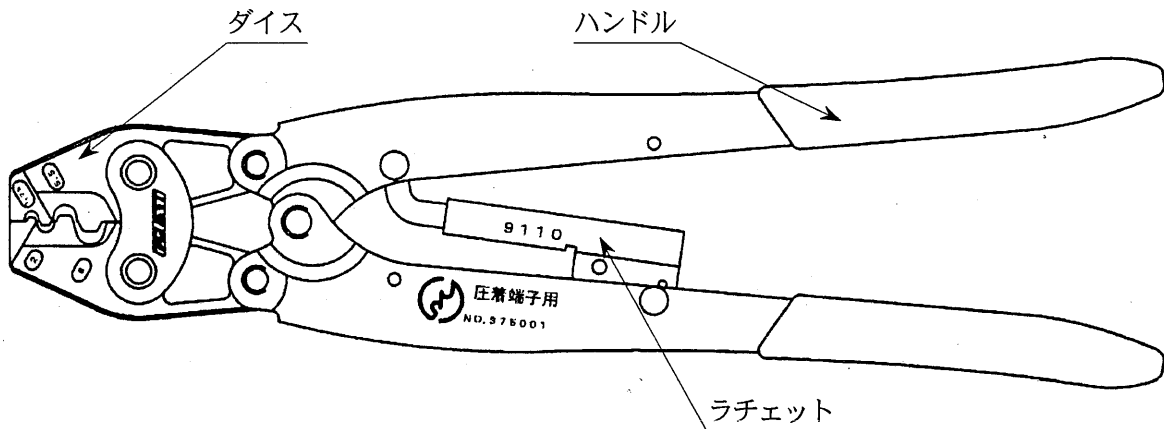
1-6. T型コネクタ用

工具番号	適用端子・スリーブ呼び	全長	重量	備考
57343-5014	T-11, T-16	320 mm	630g	ダイス固定形

※ 下記事項については弊社の圧着端子カタログを参照願います。

- ① 銅線用裸圧着端子規格
- ② 絶縁被覆付閉端接続端子規格
- ③ 銅線用絶縁被覆付圧着端子規格
- ④ 各種線番比較

2.各部の名称



注:図は 57257-5000 のものです

3.使用方法

- 3-1 工具のハンドル部を持ち、ラチェットが外れるまでハンドルを握ります。ラチェットが外れたら手を開いて下さい。ハンドル及び歯型部が開きます。
- 3-2 圧着端子を歯型部にセットし、圧着端子が歯型部により保持されるまで軽くハンドルを閉じてください。この時、端子の芯線圧着側と被覆圧着側の方向を間違えない様にして下さい。また、ハンドルを必要以上締めると端子の圧着部が変形し、電線の挿入が出来なくなりますので注意して下さい。
- 3-3 所定の長さに被覆むきした電線を端子に挿入して下さい。
- 3-4 電線を正しい位置に保持した状態でラチェットが外れるまでハンドルを握り締めます。
- 3-5 ラチェットが外れたらハンドルを開き圧着した端子を取り出します。

4.使用上の注意

- 4-1 適正な接続を得るため圧着する端子に合った工具及び電線を使用して下さい。
- ⚠ 4-2 ラチェット機構により、完全に圧着できるまでハンドルは開かない構造になっておりますので、圧着作業中は無理にハンドルを開けないで下さい。無理に開きますと重大な故障の原因となったり、破損した部品でケガをする危険があります。
- 4-3 工具の可動部（リンク・軸等）には月 1~2 回機械油を注油して下さい。またご使用後は、工具全体を油布等で拭き保管して下さい。
- ⚠ 4-4 工具を圧着作業以外の用途には使用しないで下さい。ハンマーやペンチ等の代わりに使用しますと、工具を破損したり、ケガをする危険があります。